

国際交流 *International Exchange*

ソノマ大学夏期語学研修報告 (期間: 2016年7月5日~8月13日)

2016年7月5日(火)から8月13日(土)にかけて、医学部第1学年石山尚史さん、梶野由祐さん、原 和子さん、平田真大さん、堀見悠衣さん、松井美瑠さん、和田主泰さんの7名が、カリフォルニア州立ソノマ大学での5週間の語学研修プログラムに参加した。(国際交流センター)

まつい みる
松井 美瑠 (医学部第1学年)

参加目的

今後グローバル化によって医療現場にはこれまで以上に英語が必要となるだろう。その際には英語でのコミュニケーションや異文化に臆することなく対応できることが求められる。そのため、今回の研修では読み書きだけでなく、話す聞くに重点を置いた総合的な英語能力の向上を目標として参加した。

内容: 語学研修(授業)

研修中の授業ではライティング・リーディング・コミュニケーション・映画・日常英会話を選択した。ライティングとリーディングの授業では基礎となる文法を、コミュニケーションでは英語での発表を、映画や日常英会話の授業ではスラングやより実践的な英会話についてそれぞれ学んだ。一回の授業で最低3回は発言することを目標に掲げて臨み、結果的には、3回を優に超して、ディスカッションや質問にも積極的に参加できていたと思う。最も力がついたと感じたのは日常英会話の授業で、日本ではなかなか学ぶ機会のないスラングやイディオムについて多く学ぶことができた。話す練習が多く取れたのが有意義であったとも思う。授業の休憩中には日本人同士でも英語を使って会話する努力をするなど、高い意識を持って語学研修に取り組むことができた。

授業外(アクティビティ等)

授業外のアクティビティでは、毎週金曜日にフィールドトリップとしてサンフランシスコやロシアンリバーなど学校の仲間と一緒に様々な所へ行くことができた。現地では留学生同士の絆を深め、より良い人間関係を構築することができた。このアクティビティをきっかけとして各国の留学生達と休日にも交流できたのが良かったと思う。また、現地の人たちとも短い間ではあったがコミュニケーションを図ることもできた。カンパセーションパートナーにも積極的に立候補し、アルゼンチンからサマープログラムに参加している留学生とペアを組むことになった。日本とアルゼンチンとの文化の違いを話し合い、実際に映像化することを試みた。他

国の文化を体験するだけでなく、自国の紹介をすることで日本についての知識を深めることもできた。

成果

当初目的に掲げていた総合的な英語力向上についてだが、レベルとしてはまだまだだと感じるものの、参加の前と後では全体の能力が向上したことを実感した。特にリスニング力と自分の考えを表現する力が身についたと思う。今回の研修で一番感じたことは、考える前に実行することの大切さである。会話する際に日本語を組み立ててから英訳すると会話に取り残されてしまうし、何か誘われてもどうしようか考えている間にそのチャンスは消えていってしまう。異文化に対して不安に思っているのは自分だけでなく、日本人である自分に接する先生・家族・友達も同様である。恥ずかしさや不安をかき捨て、いざ飛び込んでみればチャンスも生まれ、成るように成る。それを逃さないためにも、日々何にでも意欲的に参加することが重要なのだと実感した。

将来への展望

今回の研修を経て、自分の英語力がまだまだであることは実感したが、異文化コミュニケーションへの自信もついた。将来的に、また海外研修のチャンスがあれば是非とも参加したいし、進路として、日本だけでなく海外での活動も選択肢の一部として視野に入り始めた。今回学んだことを忘れず、広い視野でチャンスを掴んでいきたいと思う。



修了式にて。前列左から筆者、John Nardine先生、堀見さん。後列左から、梶野さん、原さん、石山さん、和田さん、平田さん